



二輪草だより

平成27年11月号
発行:二輪草センター

学童保育サポートの一環として、キッズスクールを開催します。楽しい企画を考えていますので、皆さんの参加をお待ちしています。

*受付は11月30日(月)~12月4日(金)です。詳しくはポスターまたは二輪草HPをご覧ください。
*参加希望の方は二輪草センターまで、ご連絡ください。(内線3240)
定員になり次第締め切ります。

センターの活動予定 ◆12月下旬 二輪草プラン推進委員会議 二輪草だより12月号発行

第22回二輪草セミナー終了報告

二輪草副センター長 安孫子 亜津子

平成27年9月18日(金)に開催されたイブニングセミナーでは、アメリカから佐竹典子先生をお招きし、「Targeted Therapy for Childhood Cancers - Bedside to Bench to Bedside」という演題でご講演をいただきました。佐竹先生は、平成2年に旭川医大を卒業され、北大で小児科医としての研修後、アメリカへ研究留学されました。留学中にアメリカの方とご結婚され、日本人医師としては数少ないアメリカでの医師免許も取得され、アメリカでお仕事を続けられています。その後はレジデント、University of California LAで小児血液腫瘍科のフェローシップを経て、現在はUniversity of California Davisにて、小児科(血液・腫瘍科)で臨床医をされながら、がんセンターのStem Cell Program and Institute for Regenerative Curesで基礎研究をされている「Physician-Scientist」です。



まず、アメリカと日本の医療事情や医師研修制度の違いを教えてくださいました。アメリカは医療費が高く、日本のような国民皆保険がないため、短期間の入院で効率よく治療され、国土の広さゆえ、都市部の専門医療機関と地域の病院との連携で患者を診るシステムを整えていること。医療訴訟が多いお国柄、診療録はかなり詳しく記載し、何人もの医師のチェックを必要とし、相当の時間を割かなければいけないとのことでした。レジデントのうちには上級医の決断がないと治療を行えないので、毎日詳細な報告と確認が必要とされるようです。

今年、Associate Professorに昇進された佐竹先生ですが、その過程ではたくさんのグラント(研究費)を獲得され、膨大な自己推薦書を作成し、自分とは直接関わりのない3名の研究者からの推薦状を必要とする制度など、日本とは異なる、厳しい競争社会の中で、現在のポジションを獲得されています。最近のご研究では、新たな小児白血病治療として抗体とナノ粒子を利用した薬剤のナノ複合体を開発されています。これまでに抗がん剤治療による副作用のつらさをたくさん見てきた先生だからこそ、心から「患者さんを救いたい」という熱い思いにあふれた研究であると感じました。最近ではHyundaiからの大きなグラントも獲得され、社会的ニーズと期待の高い研究分野であることがうかがわれます。グラント獲得の記念パーティで、治療を受けられた子供たちと一緒に笑顔の写真が印象的でした。



世界の第一線で活躍中の本校出身の先生のお話を聞いて、聴講した皆が元気とパワーをいただくことができた、そんなセミナーでした。遠くからお越しいただいた佐竹先生、ご参加くださった皆さん、ありがとうございます。

6日(水)

- ・作ってあそぼ!
(工作の時間)
「フォトフレームを作ろう」
- ・ぬいぐるみ病院プロジェクト
(学生による活動)
- ・おやつを作ろう!
(カボチャ団子作り)

7日(木)

- ・マジックショー&
ミニコンサート
- ・学生食堂へ行こう
- ・特別授業
「オシッコの不思議
~腎臓のお仕事・膀胱の役割~」
講師:腎泌尿器外科学講座
松本 成史先生

8日(金)

- ・雪中運動会
(天候不良時は体育館)
- ・職業体験
「ナースのお仕事
~入院中のお世話編」
講師:7階西NS
稲場 幸子副看護師長

日本医学教育学会での発表報告

二輪草センター長 山本 明美

2015年7月25日、新潟市で開催された第47回日本医学教育学会大会におけるパネルディスカッション「男女共同参画から男女平等参画へ~キャリア教育が未来を変える」において、センター長の山本が発表してまいりました。演題名は「医師のキャリア形成に関連する医学部教育の実態調査の結果と旭川医科大学における男女共同参画教育」として、前半に全国医学部長病院長会議の男女共同参画推進委員会のメンバーの一人として、同委員会が2013年2月に行った全国大学医学部・医科大学病院長へのアンケート調査結果を発表しました。80施設から回答があり、医学生に対するキャリア教育の現状の概略を明らかにすることができました。52%の施設がキャリア教育を行っているという回答していましたが、普及にはあと一歩という状況のようです。後半は二輪草センターの活動のなかで、主に医学科3年生に行っているワークライフバランス授業の内容を紹介しました。男女ともに医師という職業を永く継続できるように自分の将来像を学生時代から描いておくことが重要と強調してきました。これからも本学の取り組みが他施設の手本となるように活動していきます。

病児一時預かり室、バックアップナース、病児・病後児保育室、カウンセリング相談 【10月20日~11月19日までの利用状況】

病児一時預かり室	依頼回数	0回	利用回数	0回
バックアップナース	依頼回数	11回	稼働回数	11回
病児・病後児保育室	依頼回数	10回	利用回数	9回
カウンセリング相談			利用回数	5回

* 病児一時預り室、病児・病後児保育室は全職員・学生がご利用になれます

【お問い合わせ先】 旭川医科大学 二輪草センター(復職・子育て・介護支援センター)
〒078-8510 北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1-1
TEL 0166-69-3240(内線3240) サンニンヨレ FAX 0166-69-3249
開設時間8時30分~17時15分 E-mail: nirinsou@asahikawa-med.ac.jp
ホームページ <http://www.asahikawa-med.ac.jp/hospital/nirinsou/>